

令和7年9月定例会補正予算等の概要

1. 編成概要

今回の補正予算では、①子育て・教育環境を充実させるほか、②安全・安心な医療体制と高齢者福祉を確保する。また、③農業と介護のDXをさらに推し進めるとともに、④良好な都市基盤・交通基盤の整備などに取り組む。

①子育て・教育環境の充実

松山市立の全ての小学校・中学校の体育館に空調設備を導入し、一層安全・安心な教育環境を整備するとともに、災害時の避難所としての機能を強化する。今回の補正予算では、民間のノウハウを活用した効果的な事業手法を調査するほか、令和8年度の事業者選定に向け、債務負担行為を設定して必要な準備を進める。

また、保育現場への復帰を目指している「潜在保育士」等を雇用する保育所などに補助し、保育人材の確保を支援する。

②安全・安心な医療体制と高齢者福祉の確保

年末年始の医療体制を強化し、1次救急医療機関の混雑を緩和するため、松山市医師会や松山薬剤師会などの協力を得て、医療機関での臨時診療やオンライン診療を実施するほか、調剤等を行う薬局を臨時開設する。

また、特別養護老人ホームなどに非常用の自家発電設備を整備する費用を補助し、安全・安心な居住環境を確保する。

③農業・介護のDX推進

農業では、薬剤散布用ドローンや自動操舵システム付きのトラクターの導入を支援する。

また、介護では、AIでケアプランの作成を支援する実証事業を行い、ケアマネジメントの業務の効率化と質の向上を目指す。

④良好な都市基盤・交通基盤の整備

JR松山駅周辺の整備では、旧駅舎の撤去に合わせ、東口駅前広場に歩行者用の屋根付き通路を設置して、安全性と利便性を高めるとともに、JR四国と共同で駅北側の高架下に駐輪場を整備するため、債務負担行為を設定する。

そのほか、文化施設について、将来需要の予測、他市の運営状況調査等を実施し、松山市民会館が閉館した場合に必要な機能を含めたモデルプランを作成する。

また、国の定額減税に伴う調整給付金の給付額が見込みより増加したため、追加補正する。

2. 主な事業

(単位:千円)

① 子育て・教育環境の充実

(1) 小・中学校体育館空調整備事業	26,762
小・中学校体育館空調整備事業(債務負担行為)	(R7～8限度額) 33,000
(2) みらいの保育人材確保事業(保育士等確保支援事業)	34,000

② 安全・安心な医療体制と高齢者福祉の確保

(1) 医療提供体制整備事業	29,231
(2) 社会福祉施設防災設備等整備補助事業	26,871

③ 農業・介護のDX推進

(1) 農業DX推進事業	9,142
(2) 介護DX推進事業	5,500

④ 良好な都市基盤・交通基盤の整備

(1) 松山駅周辺整備事業	7,000
松山駅周辺整備事業(債務負担行為)	(R7～8限度額) 85,000
(2) JR駅前駐輪場管理運営事業(債務負担行為)	(R7～8限度額) 326,700
・ 文化施設の在り方検討事業(債務負担行為)	(R7～8限度額) 16,900
・ 調整給付金給付事業	788,773

3. 補正予算の規模

(単位:千円)

区分	9月補正額		累計	対前年同期伸率
	給付金分	通常分		
一般会計	788,773	1,422,595	240,222,556	4.39 %
特別会計	—	33,000	151,175,860	△ 1.57 %
企業会計	—	—	50,946,900	△ 0.57 %
計	788,773	1,455,595	442,345,316	1.70 %
公債管理特別会計	—	—	17,747,600	
合計	788,773	1,455,595	460,092,916	

4. 議案等

○認定案	2 件
○予算案	5 件
○条例案	5 件
○事件案	6 件
○人事案	3 件
(計	21 件)
○報告	8 件